

鉄道車両の輪軸の点検結果について

近畿運輸局からの鉄道車両における輪軸の緊急点検の指示を受け、当社が実施した点検結果につきましてご報告いたします。

1. 点検対象の輪軸数

828軸（全207両）

2. 点検内容

- ・現在運用している全車両の輪軸について、車軸に車輪等を圧入した際の圧入力値の記録の確認
圧入力値の記録が確認されない、記録簿の差し替えが行われている、圧入力値が社内の規定等から逸脱している等の事案の有無

3. 点検結果

- (1) 車軸に車輪等を圧入した際の圧入力値の経過記録は装置からグラフ形状で自動出力され、変更・改ざんできない仕組みとなっているため、記録の差し替え、改ざんはありませんでした。
- (2) 圧入力値について、グラフ形状から社内の作業目安値（社内規定では明記していませんがJISの規格値を目安値として適用）に一部収まっていないと読み取れる輪軸が28軸（22両）ありました。また圧入力値の記録データが残っていない輪軸が13軸（4両）ありました。

以上の内容について、近畿運輸局に報告いたしました。

4. 輪軸の安全性について

- ・輪軸の圧入においては圧入力値の経過（圧入力曲線）を観察しながら作業を実施しており、適正なはめ合いとなっていることを常時監視しております。目安値に収まっていない輪軸でも大きく目安値を逸脱したと読み取れる輪軸はありませんでした（数%以内）。また組立後のすべての輪軸を対象に超音波探傷検査を実施しており、輪軸に損傷等のないことを確認しております。
- ・すべての運用車両について、3ヶ月に1度の検査において全輪軸のバックゲージ（車輪内面間寸法）の測定を行っており、寸法に異常の無いことを確認しております。

以上のことから、すべての輪軸の安全性は確保されていると判断しており、車両の運用停止は行っておりません。

5. 今後の対応

今回の調査結果を受け、輪軸組立作業に関して明文化されていなかった基準について社内規定等に反映いたします。また関係省庁から本件に関する見解や指示があった場合には、内容を確認のうえ、適宜対応してまいります。

以上